

万仏山登山口に向かう途中の林道横に、凝灰角礫岩の岩が数個まとまってあるが、地元の人は「釜石」と呼んでいる。上に炊飯釜を乗せる竈のような配置なので、定かではないが、「かまどいし」が詰まって「かまいし」となったのではないだろうか。

数年前に一度上に乗った倒木や周囲の間伐後の丸太を片付け、少しきれいにした後は、特にボルダーとしての対象とは考えず今年まで横を通り過ぎるだけであったが、改めてよく見ると、ホールドはしっかりしており、面白そうだったので、上の蔦を払い苔を落としてトライしてみた。

現在難しいという程の課題はないが、ノブホールドを使った課題は、ちょっとジムナスティックで楽しく、一部下地が不安定なところがあるものの、全体的には安心して取り付けるので、ちょっと趣向の異なる岩をトライしてみたい人にとってはお勧めである。

また、殆どどの課題の核心はスタート部分であるが、上部は易しいものの、凝灰角礫岩であることを念頭に、ホールドチェックは確実にしていただきたい。

今回は、ほぼ設定課題解決としての紹介であったが、今回は一部新課題追加の改訂版である。アクセスは地図を参照。アプローチは駐車スペースから1分とかからない。軽自動車ならすぐ横に停められるので0分である。

《課題紹介》

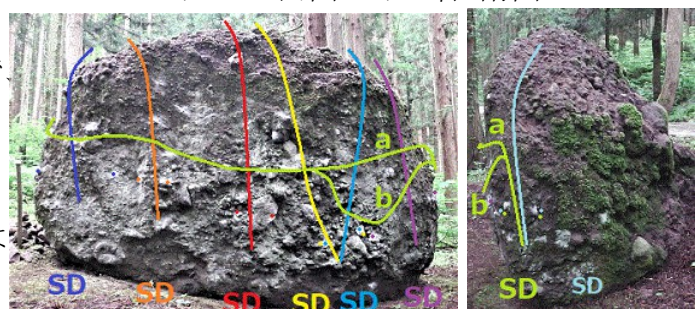
●林道横のボルダー

2m強の高さのボルダー。全体的に薄被りで、ノブホールドを使った大胆なムーヴが楽しめる。

特に個性的な課題はないが、トラヴァース課題(黄緑)が長くて楽しめる。黄緑bラインは一旦青色のスタートホールド(右)を左手で取ってから上がってaラインに合流する。

ホールドが豊富なので、他にもいろいろと限定して遊ぶと面白いかもしれない。

トポ左:西面 トポ右:南面



●右奥のハイボルダー

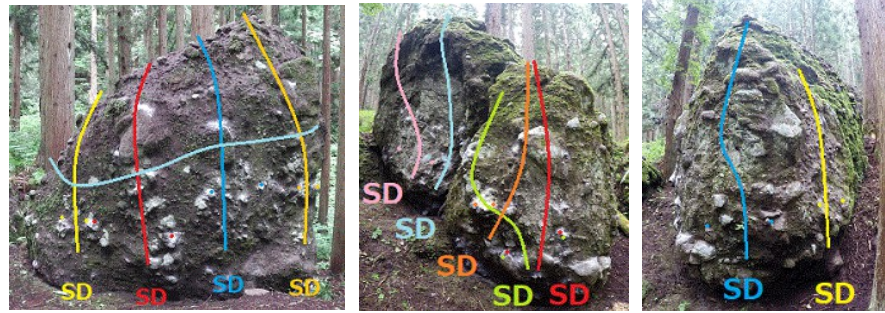
トポ左:北面

中央:西面

右:南面

北面は、易しい課題がほとんどで、こちらもノブホールドが特徴的なフェイスである。

赤ラインとトラヴァースラインが、難しくはないが大胆なムーヴで面白い。



西面は、クラックを挟んで、奥の4m程のハイボールのフェイスと手前のノブホールドのフェイスの2つに分かれる、

ハイボールの2課題はスタートスタート部分が核心で、クラックから右の壁は使用しない。上部は易しいが、落ちた場合、後ろに岩があるので。クラッシュパッドを2枚以上使用し、ケガのないように慎重に登るようにしたい。

ピンクラインは、左手は小カチ、右手は丸いホールドのピンチでスタート。右足がいいホールドに上がればあとは易しい。

水色ラインは、1手目で右上のホールドを取ったら左足をいいホールドに上げればムーヴ的には終わり。

手前のノブホールドのフェイスは、見た目は易しそうだが3課題ともスタート部分がちょっと難しく、オレンジラインは上のガバホールド左下のホールドを取るまでバランスが悪い。

南面は、ノブホールドを使った課題で易しい。